全体調整

- 上流と下流の調整→天ヶ瀬ダムで方法の模索
- 景観・治水・利水一体のもの
- 河川外の土地利用（内湖・住宅地）<遊水地>

治水 被害対策

- 過去の浸水範囲断層
- 琵琶湖沿岸の浸水被害の実態と特徴は何か。対策は？
- 治水（被害）
- 断層の存在データ
- 水害の実情（3回を別に）
- 宇治川水量 900t/s →1500t/s 放流処理
- 治水先の対策 BSC○cmの見直し琵琶湖水位について
- 水位低下の時間と放水量
- 現在でもかなり水位が上がる→1500tは不安
- 下流の堤防決壊の不安 本当に流せるのか

景観問題

- 宇治川の景観を守り、後世に残す
- 景観 ・護岸工事 ・河床掘削
- 宇治は宇治川（シンボル）があるから宇治
- 工事の評価

放流の方法

- 前期放流
- 放水量　宇治川、木津川、桂川の放水量調整可能か？
- 排砂・堆砂の問題→地質が脆弱 遊水地の確保 内水排除か琵琶湖の水位低下か
- 琵琶湖へ流入する河川の整備は進んでいるのか
- 後期放流の洗いせきの流量から見てなぜ1500tが必要なのか
- 後期放流 1500t/s 放流の見直しについて
- 狭窄部の開削はやらず、上流に対策することの重要性
- 宇治川 不要中州の処理（流量の抵抗となる）
- 1500t なぜ？上流部を含めた対策

自然の気象は変化する(地球温暖化)

- 災害対応には時間と費用が必要

びわ湖の生態系

- (琵琶湖の水位UP)(=1億3000万m³の貯留)
- 水位低下（湖岸侵食、河口の堆積）河床変動を引き起こす 野洲川でゾウの足跡化石発見→侵食量増大
- 琵琶湖の環境問題 水位を上げる
- 環境改善容量 急速な水位低下の影響
- 全体的な水位低下 →湖岸侵食

利水（水位）

- 利水
- 治水、利水について話を聞きたい
- 水資源開発の視点 →水あまり
- しかし、天ヶ瀬ダムは、渇水のための水量確保ができる

川・湖への向きあい方 自然

- 琵琶湖をダムのように扱うことに疑問
- 川・湖を畏敬する。自然に沿って対策を。